

## 令和4年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	枠配分方式による予算制度の更なる進展						
<b>総合計画 重点施策</b>	-	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	財政部	<b>担当課</b>	財政課

<b>事業目的・概要</b>
<p>今後、極めて厳しい財政運営が想定される中で、全職員が現在の財政状況を的確に認識し、経営感覚を持って職務にあたることを求められる。</p> <p>そのため、限られた財源を最も優先すべき事業に配分できるよう、市民ニーズを的確に把握できる担当部局が自らの権限と責任で予算を編成する「枠配分方式」を令和3年度予算編成から導入した。市民ニーズの充足、担当部局の自主性・自立性の確保やコスト意識の向上等の効果をさらに高めることができるよう、枠配分方式による予算編成のブラッシュアップを行う。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
5月 改善点の検討 6月 政策経費の要求 7月 枠内外振分けヒアリング 8月 枠内外の確定 9月 政策経費の決定 10月 枠総額とシーリング率の確定 11月 各部による部内調整 1月 市税調整 予算編成完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月に、昨年度からの改善点を検討。</li> <li>・6月に、経費区分の調査、政策経費の要求、インセンティブ加算対象の調査を実施。</li> <li>・7月に、経費区分についてヒアリングを実施。</li> <li>・8月に、政策経費のうち審査を行う事業についてプレゼンテーション形式による担当課説明を行ったのち、副市長・教育長・部長職による審査を実施。</li> <li>・10月に、歳入の見込額を算出、枠総額・シーリング率を確定し、予算編成説明会を開催。</li> <li>・11月に、政策経費実施予定事業を確定し、各部において枠内経費の部内調整を実施。</li> <li>・12月に、一財扱い基金(公共施設整備基金・学校施設整備基金・ふるさと取手応援基金)の充当作業を実施。</li> <li>・1月に、市税・交付税等の歳入の最終調整を行い、当初予算を確定。</li> </ul>	A (予定どおり 進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
<b>改革改善</b>	令和5年度当初予算の編成では、政策経費における施設老朽化対策事業の優先順位決定方法の変更、枠内外経費における区分判定の修正、の2点を主な改善点として編成作業を進めた。編成後には職員向けにアンケート等も実施しており、令和6年度以降の編成では、それらを基に改善事項を検討し、さらなる改革改善を図っていく。

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				協働の取組・方向性
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源				
事業費計(A)	0	0	0		
人件費	正規職員数	10	10	10	協働の取組・方向性
	業務時間	4,000	4,000	4,000	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	12,684	12,668	12,768		
トータルコスト(A+B)	12,684	12,668	12,768		

## 令和4年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	ふるさと取手応援寄附金の募集・活用事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	歳入の確保	組織目標	-	担当部	財政部	担当課	財政課

<b>事業目的・概要</b>
<p>取手市のまちづくりを応援する人々からの寄附を広く募り、その寄附金を財源として多様な事業を実施することにより、様々な人々の参加による個性豊かで活力あるふるさとづくりと地域全体の活性化を図ることを目的とする。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
寄附金額	千円	869,896	1,082,872	2,000,000	3,000,000

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p>目標期限 令和5年3月末</p> <p>達成基準 寄附金額 10億円</p>	<p>4月 令和3年度に引き続き、ポータルサイト4社で寄附募集を実施 4月 返礼品協力事業者の公募制度を開始 4月以降 市内事業者を訪問し公募制度の概要を説明 4月～3月 6事業者が新規登録</p> <p>11月 寄附金額5億円に到達 令和5年2月 寄附金額10億円に到達 令和5年3月 令和4年度の寄附金額合計が10億8,287万円で確定</p>	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	<p>令和4年度は、返礼品提供事業者の公募制を始め、新規事業者の参加と返礼品の拡充が図られたことで、約10億8,287万円の寄附を募ることができた。(前年度比約2億円増) 令和5年度は、新規事業者の参加と返礼品の拡充を図るとともに、返礼品の魅力を向上させる取り組みを進め、全国に発信していく。</p>

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				寄附金額の増加に伴う委託料の増加
	県支出金				
	地方債				
	その他	439,985	529,577	1,042,350	
	一般財源		14,110		
事業費計(A)	439,985	543,687	1,042,350	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	3	3	3	取手市の魅力発信とふるさと納税を広めるため、返礼品は事業者の協力のもと随時更新している。市内外を問わずに寄附金を受入れ、その寄附金を財源とした事業を実施することで、多くの人々に取手市のまちづくりに参加してもらおう。
	業務時間	2,361	3,185	3,888	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	7,487	10,087	12,410		
トータルコスト(A+B)	447,472	553,774	1,054,760		

## 令和4年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	取手庁舎照明器具改修(LED化)事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	財政部	<b>担当課</b>	管財課

<b>事業目的・概要</b>
<p>取手庁舎の照明器具は経年劣化が進んでおり、故障箇所ごとに修繕を行っているが、各メーカーが蛍光灯照明器具及び蛍光灯の生産を終了していることから、今後の蛍光灯器具の修繕が困難な状況となっている。本事業の実施により、照明器具の消費電力が少なくなることから温室効果ガスの排出を抑制するなど省エネ化を図る。</p> <p>既存照明数:本庁舎:地下1階/地上4階/PH2階:718台 新庁舎:地上3階:328台 議会棟:地上2階:244台 (NECによる現地調査結果)</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
取手庁舎照明器具改修工事实施設計業務委託 7月 発注 8月 受託業者との協議 (公共施設整備課参加) R5年3月下旬 成果品の受領	7月7日 入札・開札 7月7日 契約 3月20日 設計図書完成 3月22日 完成検査終了	A (予定どおり 進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
継続	第二次取手市地球温暖化防止実行計画に基づき、温室効果ガス排出抑制のため、令和5年度に取手庁舎の照明器具改修工事を実施する。

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	-----	-----	-----	
	県支出金	-----	-----	-----	
	地方債	-----	-----	99,000	
	その他	-----	1,089	-----	
	一般財源	-----	121	11,000	
事業費計(A)	0	1,210	110,000	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	-----	3	3	
	業務時間	-----	840	840	
	その他職員人件費	-----	-----	-----	
人件費計(B)	0	2,660	2,681		
トータルコスト(A+B)	0	3,870	112,681		

## 令和4年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	未利用地の財産処分事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	歳入の確保	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	財政部	<b>担当課</b>	管財課

<b>事業目的・概要</b>
<p>普通財産に分類される未活用の土地で、市街化区域に存する等比較的経済価値の高い土地については、積極的に売却を進め、維持管理の軽減及び自主財源を確保する。</p> <p>また、未利用となっている財産の整理を行い、売却できる物件から積極的に財産処分を進める。なお、売却対象の中で未売却となっている物件については、売払い看板の設置、ホームページ等での情報周知を強化し、財産の処分を図っていく。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度												
<p>①市有財産管理委員会を開催し、売払いの承認を得る。(一般競争入札による場合は、事前に不動産鑑定を行い、最低落札金額を設定する。)</p> <p>②随意契約の場合は、売払い承認後、不動産鑑定を依頼し、売買金額を確定する。</p> <p>③購入者と普通財産売買契約を締結する。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">契約方法</th> <th style="width: 20%;">件数</th> <th style="width: 50%;">売却金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般競争入札</td> <td style="text-align: center;">2件</td> <td style="text-align: right;">131,115,100円</td> </tr> <tr> <td>随意契約</td> <td style="text-align: center;">4件</td> <td style="text-align: right;">5,128,300円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">6件</td> <td style="text-align: right;">136,243,400円</td> </tr> </tbody> </table>	契約方法	件数	売却金額	一般競争入札	2件	131,115,100円	随意契約	4件	5,128,300円	合 計	6件	136,243,400円	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>
契約方法	件数	売却金額												
一般競争入札	2件	131,115,100円												
随意契約	4件	5,128,300円												
合 計	6件	136,243,400円												

<b>今後の方向性</b>	
継続	売却可能な未利用地の処分(売却)を積極的に実施する。また、一般競争入札で、売却に至っていない物件については、市の広報紙やホームページによる周知だけでなく、現地に売払い看板を設置し、不動産業者への情報提供を強化する。

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金	-----	-----	-----	令和4年度は、白山市有地及び宮和田市有地、浜田市有地を売却し、令和5年度売却予定である桜が丘市有地の不動産鑑定評価を実施する予定としている。
	県支出金	-----	-----	-----	
	地方債	-----	-----	-----	
	その他	-----	-----	-----	
	一般財源	681	952	951	
事業費計(A)	681	952	951	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	1,680	1,680	1,680	
	その他職員人件費	-----	-----	-----	
人件費計(B)	5,327	5,321	5,363		
トータルコスト(A+B)	6,008	6,273	6,314		

## 令和4年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	個別施設計画策定の支援						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	財政部	<b>担当課</b>	公共施設整備課

<b>事業目的・概要</b>
施設所管課が策定する個別施設計画の作成にあたり、計画策定に必要な協議や情報提供などを行い、公共施設マネジメント戦略会議に諮るなど、計画策定を支援する。

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
7月～8月 建物の劣化状況の調査 7月～8月 マネジメントシステムへ劣化状況の入力及び劣化度の判定 7月～8月 マネジメントシステムへ運営情報の入力 7月～9月 施設の情報整理 8月～10月 施設の課題整理 10月～1月 施設の方向性の検討 10月～1月 個別施設計画の方針の検討 10月～3月 施設所管課との協議	策定にあたり、策定スケジュール、個別施設計画策定ガイドライン、個別施設計画のひな型を作成しスムーズに着手できるように施設所管課に情報提供を行った。 作業にあたっては、建物の劣化状況の調査への随行、マネジメントシステムへの入力作業の補助、計画の方針の素案を作成するなどの支援を行った。	A (予定どおり 進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
継続	策定にあたっては、全庁横断的な取組みが必要であることや、施設管理についての専門的な内容が含まれているため、施設所管課への支援を続け進捗を管理しながら個別施設計画を策定する。

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				協働の取組・方向性
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源				
事業費計(A)	0	0	0		
人件費	正規職員数		2	2	「取手市公共施設等総合管理計画」では、「市民との協働とマネジメント体制の構築」を基本方針の一つとしており、市民との協働、民間事業者との連携により効率的・効果的な公共サービスの実現に取り組む。
	業務時間		1,900	1,900	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	0	6,017	6,065		
トータルコスト(A+B)	0	6,017	6,065		

## 令和4年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	公共建築工事の品質の確保						
<b>総合計画 重点施策</b>	—	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	財政部	<b>担当課</b>	公共施設整備課

<b>事業目的・概要</b>
<p>工事が設計図書どおりに施工されているか、公共建築工事標準仕様書に適した施工がされているかなどに留意し、工事監督を行うことで、建築物の品質及び性能を確保し工事を竣工させる。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
営繕工事の監督を行い竣工となった件数	件	32	20		

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度																				
<p>工事件数=11件</p> <p>【発注支援】 5～11月 工事発注</p> <p>【工事監督】 4～3月 施工者・関係者との協議 4～3月 工事書類精査 4～3月 現場確認 4～3月 段階確認検査 5～3月 工事完成 6～3月 竣工検査</p>	<p style="text-align: center;">工事竣工件数=20件(当初より9件増)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">完成月</th> <th style="width: 50%;">件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td style="text-align: center;">6月</td><td style="text-align: center;">1件</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">9月</td><td style="text-align: center;">1件</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">10月</td><td style="text-align: center;">3件</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">11月</td><td style="text-align: center;">1件</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">12月</td><td style="text-align: center;">4件</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">1月</td><td style="text-align: center;">2件</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">2月</td><td style="text-align: center;">4件</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">3月</td><td style="text-align: center;">4件</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">合計</td><td style="text-align: center;">20件</td></tr> </tbody> </table>	完成月	件数	6月	1件	9月	1件	10月	3件	11月	1件	12月	4件	1月	2件	2月	4件	3月	4件	合計	20件	<p>A (予定どおり 進んでいる)</p>
完成月	件数																					
6月	1件																					
9月	1件																					
10月	3件																					
11月	1件																					
12月	4件																					
1月	2件																					
2月	4件																					
3月	4件																					
合計	20件																					

<b>今後の方向性</b>	
継続	引き続き、適切な営繕工事の監督を行い、公共建築物の品質及び性能の確保に努める。

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源				
事業費計(A)	0	0	0	協働の取組・方向性	
人件費	正規職員数	5	4	4	
	業務時間	6,000	4,800	4,800	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	19,026	15,202	15,322		
トータルコスト(A+B)	19,026	15,202	15,322		

## 令和4年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	公共施設マネジメント推進事業					
<b>総合計画 重点施策</b>	行政運営の効率化	<b>組織目標</b>	-	<b>担当部</b>	財政部	<b>担当課</b> 公共施設整備課

<b>事業目的・概要</b>
<p>平成28年度に策定した「取手市公共施設等総合管理計画」に基づき、財政支出の平準化や施設の更新・複合化・多機能化・機能統合などを視野にいたした計画的な管理をしていくことにより、公共施設の総量圧縮を段階的に進めていく。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
取手市公共施設等総合管理計画で設定されている縮減率(令和37年度までに27%)	%	2.77	3.62		

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
3月 戸頭北保育所解体 3月 白山小学校教室棟3解体 3月 白山小学校教室棟7解体 3月 白山小学校プール附属棟解体	11月 戸頭北保育所解体 565.0㎡減 1月 市営宮和田住宅10号棟解体 23.0㎡減 3月 白山小学校教室棟3解体 856.0㎡減 3月 白山小学校教室棟7解体 596.0㎡減 3月 白山小学校プール附属棟解体 54.0㎡減  <div style="text-align: right;">合計 2,094.0㎡減</div> 累計縮減面積8,957㎡÷保有面積247,371㎡≒3.62%	A (予定どおり 進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
継続	引き続き、公共施設の総量圧縮に努めるとともに、「取手市公共施設等総合管理計画」、「第1次行動計画(公共施設)」に基づき、施設類型ごとに個別施設計画などの策定の推進・調整を図る。

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金			令和3年度は、公共施設マネジメントシステムを最新版へバージョンアップを行ったため減額となった。	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,236	1,136		1,136
事業費計(A)	2,236	1,136	1,136	<b>協働の取組・方向性</b>	
人件費	正規職員数	2	2	「取手市公共施設等総合管理計画」では、「市民との協働とマネジメント体制の構築」を基本方針の一つとしており、市民との協働、民間事業者との連携により効率的・効果的な公共サービスの実現に取り組む。	
	業務時間	1,900	1,900		1,900
	その他職員人件費				
人件費計(B)	6,025	6,017	6,065		
トータルコスト(A+B)	8,261	7,153	7,201		

## 令和4年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	公共施設の計画的保全推進事業					
<b>総合計画 重点施策</b>	行政運営の効率化	組織目標	-	担当部	財政部	担当課 公共施設整備課

<b>事業目的・概要</b>
<p>ファシリティマネジメントを導入し、公共施設の保安全管理方法を事後保全から計画的保全へ転換を進める。施設の計画的な保安全管理や長寿命化により、ライフサイクルコストの低減を図る。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
5月 建物調査・公共施設マネジメントシステム操作説明会 7月 公共施設マネジメント研修会(録画) 8月 公共施設マネジメント庁内研修会	<p>建物調査及び公共施設マネジメントシステムの操作説明会を施設所管課の担当者を対象として実施した。また、公共施設マネジメントに関連したセミナーが開催されたため、庁内に周知し希望者を募った。 (対面)</p> <p>5月17・18日 建物調査及び公共施設マネジメントシステムの操作説明会(72名)            7月～8月 建物調査現地研修会(13施設)            10月 公共施設マネジメント庁内研修会(対面26名、動画89名)            (動画・WEB)</p> <p>5月 PPP入門講座(録画:4名)            7月 公共施設マネジメント研修会(録画:全職員対象)            7月 公有財産活用セミナー(WEB:3名)            11月 国交省主催公開サウンディング傍聴(WEB:6名)            2月 PPP/PFI推進施策説明会(WEB:9名)</p>	A (予定どおり 進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
継続	<p>継続的に庁内研修会を実施することで、ファシリティマネジメントについて職員の意識づけを目指し、コスト意識を向上させていく。また、施設維持管理部門以外の職員も積極的に施設運営に関わっていける仕組みづくりなどを進める。</p>

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由	
事業費	国庫支出金				協働の取組・方向性
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源				
事業費計(A)	0	0	0		
人件費	正規職員数	2	2	2	「取手市公共施設等総合管理計画」では、「市民との協働とマネジメント体制の構築」を基本方針の一つとしており、市民との協働、民間事業者との連携により効率的・効果的な公共サービスの実現に取り組む。
	業務時間	750	750	750	
	その他職員人件費				
人件費計(B)	2,378	2,375	2,394		
トータルコスト(A+B)	2,378	2,375	2,394		

## 令和4年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	固定資産税の公平・正確な課税に向けた各種調査等の実施						
<b>総合計画 重点施策</b>	-	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	財政部	<b>担当課</b>	課税課

<b>事業目的・概要</b>
<p><b>【土地】</b> 法務局からの登記済み通知により登記変更した土地について、次年度に適正な課税を行うため、課税地目や画地データの変更等による土地評価の見直しを行うことにより課税台帳を整備する。</p> <p><b>【家屋】</b> 固定資産税の課税客体となる家屋(新築・増築)について適正な調査を行い、公平・公正な課税を行う。また既存の家屋についても所有者の変更や滅失について、法務局からの通知や現地調査等をおこない適正な課税客体の把握に務める。</p> <p><b>【償却資産】</b> 法人や個人事業主から提出される償却資産申告書の確認を行い、課税客体を把握し、適正な資産価格を決定し、課税処理を行う。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
台帳処理した土地の筆数	筆	17,208	18,080		
家屋評価件数(新築・増築)	棟	529	567		

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
<p><b>【土地】</b> 4月～12月 法務局からの登記済み通知により登記変更した土地(国土調査法に基づく地籍調査事業地も含む)について、現況調査、航空写真及び土地画地データとの照合、変更処理。 1月～3月 課税台帳の確認</p> <p><b>【家屋】</b> 5月～12月 家屋調査(新築・増築)、現地で既存家屋(滅失・用途変更等)、航空写真による家屋異動確認、法務局通知による異動処理 1月～3月 課税台帳の確認</p> <p><b>【償却資産】</b> 11月 税務署等確認による新規事業者確認 12月～1月 償却資産の申告について通知、申告書の受理・確認 1月～3月 課税台帳の確認</p>	<p>・課税客体を的確に把握し公平・公正な課税を行った。</p> <p><b>【土地】</b> 国土調査法に基づく地籍調査事業地(白山二丁目、三丁目、六丁目、新町三丁目)の各一部)527筆を含む</p> <p><b>【家屋】</b> 令和4年度評価件数内訳 新築 505件 増築 9件 その他 53件</p> <p><b>【償却資産】</b> 申告書受付件数 1,557件 うち免税点(150万円未満)835件</p>	<p>A (予定どおり進んでいる)</p>

<b>今後の方向性</b>	
継続	<p><b>【土地・家屋】</b> 今後も、法務局からの通知だけでなく、現地確認また航空写真を活用することで、適正な課税客体の状況把握を行い、より公平・公正な課税につなげる。</p> <p><b>【償却資産】</b> 事業用償却資産を適正に把握し、公平・適正な課税につなげる。</p>

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			家屋異動判読調査を業務を隔年で実施しているため。
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	3,160		
事業費計(A)	3,160	0	2,750	<b>協働の取組・方向性</b>
人件費	正規職員数	12	12	12
	業務時間	1,200	17,280	17,280
	その他職員人件費			
人件費計(B)	3,805	54,726	55,158	
トータルコスト(A+B)	6,965	54,726	57,908	

## 令和4年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	個人市民税の申告受付の対応と賦課に関する事務整備						
<b>総合計画 重点施策</b>	-	<b>組織目標</b>	○	<b>担当部</b>	財政部	<b>担当課</b>	課税課

<b>事業目的・概要</b>
<p>個人市民税の賦課に関しては、申告の受付が基礎となり、税務署との申告データの引継をスムーズに行うことが重要となる。平成29年1月以降、申告書作成システムで作成した所得税の確定申告書等については、紙ではなく、電子データのまま税務署へ引継ぐことが可能となった。データ引継ぎのメリットとしては、申告書への添付書類や署名が省略でき、書面での提出に比べ所得税が早く還付されることから市民サービスの向上が期待できる。さらに、添付書類の貼付、申告書の名簿作成・引渡し等の事務処理の軽減や印刷用紙の減少による経費の削減等による事務の効率化も期待できる。また、申告受付に関しては、来庁者の安全に配慮した新しい生活様式に対応できる申告会場の整備に務める。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
確定申告のデータ引継ぎ	%	70.90	86.85	92.00	100

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
12月～1月 茨城県や税務署等との協議 (税制改正等のデータ連携への影響) 申告受付マニュアル作成 職員研修の実施 データ引継ぎ用マニュアル作成 2月～3月 申告受付 申告書等データの引継ぎ	申告書等のデータの引継については、申告書毎に利用者識別番号の取得が必要となる。取手市役所内の申告会場(取手勤労青少年センター)に加えて令和4年度は藤代庁舎で行う申告者についても全員の利用者識別番号取得を行った。なお、一度取得した利用者識別番号は翌年度以降も使用できるので更に効率化を目指すことが可能である。申告受付の時間枠(30分ごと)指定制度は、来庁者の待ち時間削減、会場混雑緩和の効果が得られて来庁者からも好評であったことから継続して実施した。これに加えて令和4年度は動画配信サイトのライブ中継機能を利用した呼出し番号の配信を行った。令和3年度から受付時間を1時間短縮したことにより、申告資料整理や会場整備に時間を割くことができるようになった。	A (予定どおり 進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
継続	利用者識別番号の取得方法を見直しながら、申告書等データの引継ぎによる件数を増加させる。令和5年度は、藤代庁舎以外の出張受付会場での取得開始を目指す。

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			藤代庁舎および公民館での出張受付時において、昨年よりも派遣職員を増員して対応したので、申告受付業務委託料が増加した。
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	5,738	6,014	
事業費計(A)	5,738	6,014	8,330	<b>協働の取組・方向性</b>
人件費	正規職員数	13	13	13
	業務時間	1,686	1,700	1,700
	その他職員人件費	2,408	2,564	2,565
人件費計(B)	7,754	7,948	7,991	
トータルコスト(A+B)	13,492	13,962	16,321	

## 令和4年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	現年度課税分徴収対策の強化事業						
<b>総合計画 重点施策</b>	歳入の確保	組織目標	○	担当部	財政部	担当課	納税課

<b>事業目的・概要</b>
<p>自主財源の確保と税負担の公平性を保つため、滞納整理をはじめとした効果的な収納体制の整備に努め、一層の収納率向上を目指す。</p> <p>事業概要としては、現年度未納分の早期回収が滞納繰越分の縮減につながることから、自主納税および納税相談につなげる催告業務の強化や、滞納処分の早期着手に取り組む。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
現年度課税分徴収率	%	99.02	99.18	99.05	99.10

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
通年 納税相談、督促状の発送 5月 第4回現年度催告(令和3年度課税) 8月 第1回現年度催告 11月 第2回現年度催告 2月 第3回現年度催告	当初のスケジュールどおり、現年度課税分の未納者に対して、全税目全期分を対象に年度内3回の文書催告を実施するとともに、催告無反応者には、段階的に文書表現を変えるなど催告業務の強化に取り組んだ。 同時に、財産調査への早期着手、調査結果を踏まえた滞納処分(差押等)についても適正に執行した。 効果的な催告と滞納処分の早期着手の結果、市税3税(市県民税・固定資産税・軽自動車税)の徴収率は99.18%と高い水準を維持することができた。	A (予定どおり 進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
継続	自主納税の原則に従い、まずは文書催告の強化による自主納付と納税相談への誘導を促しながら、適正な滞納処分を執行していく。

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他	1,219	1,175	1,250
	一般財源	14,122	13,937	15,630
事業費計(A)	15,341	15,112	16,880	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	15	16	17
	業務時間	15,345	16,368	17,391
	その他職員人件費	420	401	455
人件費計(B)	49,079	52,238	55,967	
トータルコスト(A+B)	64,420	66,228	71,597	

## 令和4年度分 重点事業マネジメントシート

<b>重点事業名</b>	過年度課税分徴収対策の強化事業						
総合計画 重点施策	歳入の確保	組織目標	○	担当部	財政部	担当課	納税課

<b>事業目的・概要</b>
<p>自主財源の確保と税負担の公平性を保つため、滞納整理をはじめとした効果的な収納体制の整備に努め、一層の収納率向上を目指す。</p> <p>事業概要としては、納税相談等による滞納者の納税資力の見極めを重視しながら、差押等の滞納処分を適正に執行する。</p>

成果指標	単位	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (目標)	R6 (目標)
過年度課税分徴収率	%	41.60	47.81	50.60	50.70

事業スケジュール(当初)	進捗状況	進捗度
通年 納税相談、滞納処分の執行 4月 茨城租税債権管理機構移管(第1回) 5月 高額事案検討会(第1回) 6月 中額事案一斉催告の実施 8月 茨城租税債権管理機構移管(第2回) 10月 高額事案検討会(第2回) 10月 少額事案一斉催告の実施 1月 高額事案検討会(第3回) 2月 茨城租税債権管理機構移管(第3回) 3月 国税還付金差押えの執行	<p>今年度においても、過年度課税分の繰越滞納者に対して粘り強く納税折衝を行うとともに、財産調査により納税資力を見極めながら、適正に差押や執行停止といった滞納処分を執行した。</p> <p>また、長期累積滞納事案などの困難事案については、より専門的な見地から納税折衝と滞納処分を執行する「茨城租税債権機構」に移管し、滞納市税の早期回収を図った。滞納事案の解決が進んだことから、高額事案検討会は年度内2回の開催となった。</p> <p>納税資力の的確な見極めによる滞納処分の結果、徴収率は、前年度比で6.21%増の47.81%となった。</p>	A (予定どおり 進んでいる)

<b>今後の方向性</b>	
継続	納税相談や財産調査による納税資力の見極めを徹底し、茨城租税債権管理機構との連携を図りつつ、個別滞納事案の早期解決に取り組んでいく。

事業費(単位:千円)	R3(実績)	R4(実績)	R5(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他	1,219	1,175	1,250
	一般財源	14,122	13,937	15,630
事業費計(A)	15,341	15,112	16,880	協働の取組・方向性
人件費	正規職員数	15	16	17
	業務時間	15,345	16,368	17,391
	その他職員人件費	420	401	455
人件費計(B)	49,079	52,238	55,967	
トータルコスト(A+B)	64,420	67,350	72,847	